

『第 73 回体育大会』に寄せて

学校長 駒田 勝

いよいよ待ちに待った、体育大会の当日となりました。本年度も、こうして無事に体育大会が開催できますことに感謝し、心から喜びたいと思います。そして、何よりも皆で力を合わせ、今日の体育大会を大いに盛り上げ、楽しみましょう。

ところで、去る 4 月 28 日(火)、2 人のスポーツ選手が引退会見を開きました。ミラノ・コルティナ冬季五輪のフィギュアスケート・ペアで日本勢初の金メダルに輝いた「りくりゅう」こと 三浦 璃来 選手と 木原 龍一 選手。

冬季五輪当日、ショートプログラムで得意とするリフトが崩れ、演技終了後には泣き崩れる木原選手に優しく寄り添う三浦選手の姿が多くの人々の胸を打ちました。ただ、優勝候補であった 2 人の結果は 5 位と大きく出遅れ、金メダルは絶望的だと思われました。が、翌日のフリー演技では歴代世界最高となる高得点をたたき出し、大逆転での金メダルを獲得しました。後日談として、翌日のフリー演技当日になっても立ち直れない木原選手に「今日は、龍一くんのためだけに滑るからね」と励ます三浦選手の姿があったそうです。大逆転の裏側には、強い絆で結ばれた 2 人の揺るぎない信頼関係があったことを知り、再び感動をおぼえた人も多かったのではないのでしょうか。失敗したことを決して責めることなく、お互いを信頼し励まし合い、最後まで勝利を目指す 2 人の姿勢には、私たちも大いに見習うべきものがあります。

体育大会は、ただ競い合うだけの場ではありません。勝利を目指すその過程で、仲間との絆を深め、相手への敬意を学ぶ場でもあります。今日の体育大会では、生徒全員が正々堂々と全力で競技に取り組み、最後まで勝ちにこだわる姿勢を持って競技に臨んでもらいたい。そして、勝っても負けてもお互いが全力を出し切り、気持ちよく競技できたことに、相手への敬意と仲間への感謝の気持ちを持ってもらいたい。また、そうした姿勢こそが龍高生としての絆を一層深めるものと考えます。勝利を目指しながらも、互いを讃え合う一日としていきましょう。

最後になりますが、ご多用の中、お越しいただいたご来賓の皆さま並びに保護者等の皆さまに感謝申し上げますと共に、本日の体育大会開催に向け入念に準備していただいた生徒会の皆さんをはじめ、クラス役員の皆さん等々、ここに集う全ての皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。